

令和3年度 第1回 成田市総合計画審議会会議録

1 開催日時

令和3年10月18日（月） 午後2時00分～午後3時40分

2 開催場所

成田市役所 6階 中会議室（成田市花崎町760番地）

3 出席者

（委員）

山崎副会長、宮委員、真行寺委員、金崎委員、菅野委員、浅野委員
石川委員、高塚委員、一畝田委員

（事務局）

企画政策部 木下部長

企画政策課 篠塚課長、平野課長補佐、木内係長、元木主査、中村副主査

4 議事（要旨）

（1）「NARITA みらいプラン」第5次実施計画の進捗状況について

- ・「NARITA みらいプラン」第5次実施計画について、事業の進捗状況等の報告を行った。

（2）「NARITA みらいプラン」第7次実施計画について

- ・「NARITA みらいプラン」実施計画についてローリング作業を実施し、令和4年度から令和6年度までの3か年を対象とする第7次実施計画について説明を行った。

5 質疑等

(1) 「NARITA みらいプラン」第5次実施計画の進捗状況について

□基本施策 1-2-1「空港と共生する生活環境を整える」に関連して、成田空港の更なる機能強化における第3滑走路の新設に係る移転対象区域の拡大に伴い、成田市への移転を希望される方が多いと聞かすが、市ではそういった情報を把握しているのか。

→移転状況の具体的な数字などについては把握していないが、昨年4月に移転対象区域が拡大し、すぐに移転できる方がいる一方、まずは移転先を見つけなければいけないなどの理由から、移転が進まない人も多いという現状は伺っている。

□基本施策 3-1-1「成田の未来をつくる教育を推進する」の学校給食施設整備事業において、親子方式とはどのようなものか。

→学校給食の調理方式として、各自治体に給食センターを整備して、そこから全校に給食を配送する「センター方式」というものが基本的なものとなるが、その他に「自校方式」と「親子方式」というものがあり、「自校方式」では学校で食べる給食をその学校で調理するため、温かい給食を提供できるなどのメリットがある反面、給食調理の効率が低いというデメリットもある。「親子方式」については、複数の学校をグループ化し、そのグループの中で給食調理の拠点となる学校に給食調理場を整備し、そこからグループ内の学校へ給食を配送するというものである。

□基本施策 2-1-1「子どもの健やかな成長を支援する」の子ども医療費助成事業について、計画額に対して決算額がかなり少ないように感じる。昨年はインフルエンザの患者が少なかったことに加え、風邪を引く子どもが少なくなったとの情報を報道で知ったのだが、成田市でも同じような傾向があるのか。

→新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、手洗いやうがい、アルコール消毒などを学校でも徹底している効果なのか、インフルエンザの患者数が少なかったという話は伺っている。また、受診控えにより小児科の受診率がかなり減ったということも聞いており、そういった影響もあると思われる。

□基本施策 4-1-1「空港を生かしたまちづくりを推進する」のまちづくり戦略推進事業において、（仮称）吉倉駅及び（仮称）土屋駅の設置に向け、需要予測調査などを実施したとのことだが結果は。

→まちづくり構想を計画している吉倉地区と東和田南部地区、また、かねてより新駅の構想を持ち続けている（仮称）土屋駅について、仮に新駅を設置した場合にどれだけの需要が見込まれるかの調査を行ったものであり、吉倉地区については、まちづくりが実現した後という条件付きではあるが、1日13,000人程の乗降客が見込まれており、これは公津の杜駅と同規模程度となる。（仮称）土屋駅については、現状、市においてまちづくり構想がないことから、鉄道事業者として採算が取れるベースにまでは至らないという結果となった。

（2）「NARITA みらいプラン」第7次実施計画について

□新清掃工場関連付帯施設整備事業において、余熱等を利用した付帯施設という記載があるが、具体的にどのような構想があるのか。

→成田富里いずみ清掃工場から発生する余熱を利用して、市民が温水プールを楽しめるようなレクリエーション施設を整備しようとするものである。

□小中学校バリアフリー整備事業において、多目的トイレやエレベーターなど、運動障害のある方や LGBT の方への配慮などが根本にあるかと思うが、感覚障害の方へのバリアフリー対応などは今後、予定しているのか。

→現在の整備計画では、国の補助要綱に従ったバリアフリーのメニューにのみ限定しており、多目的トイレやエレベーター、スロープなどの車いす等の使用を前提としたバリアフリー対応に留まっていることから、現時点においては感覚障害の方へのメニューは含まれていない。

□成田市は教育環境に非常に恵まれていると感じているが、子どもたちはそのような恵まれた環境であることを理解していないように感じる。市として、教育にどれだけお金を掛けているか、どれだけ教育に力を注いでいるかなどの情報をもっと積極的に PR していくことが必要だと思う。また、LINE などで成田市の情報を知ることができると思って調べたところ、登録者数が非常に少ないように感じた。スーパーなどで登録に係る QR コードなどを周知してくれれば、お金を掛けずに様々な情報を市民に伝えられるのでは。

□デジタル化の推進は必要だと考えているが、高齢者福祉の立場で考えるとアナログな方もまだ多いと感じている。コロナウイルスのワクチン接種の予約に関しても、電話が繋がらない状況の中でネット環境がない方などから、どうすればよいのかという相談が包括支援センターなどに多数寄せられた。デジタル化についていけない方もいるということをご認識いただき、そのような方たちへの情報発信の方法も検討していただければと思う。

□表参道銀行跡地利活用事業において、銀行跡地にはどのような施設を整備する計画なのか。

→表参道銀行跡地については、現在、イベントスペースとして一時的に使用している状況だが、立地も非常に良いことから、コロナによる様々な制限が解除された後、イベントが本格化されたときにどういった利活用が考えられるかというのを検討している状況である。現時点では具体的な整備方針は決まっていないが、観光に資するような施設として整備を進めていく予定である。

□令和4年度から令和6年度までの計画期間となる第7次実施計画だが、今後どのようなスケジュールで計画が確定していくのか。

→本年度は議会への報告を終え、本審議会にお諮りさせていただいていることから、本日、皆さまにご了承いただければ、これをもって確定とし、市HPへ公表する予定である。

6 傍聴

1名